

# 社団法人 おおさき青年会議所

## 2012年度 おおさき花火大会プロジェクト

リーダー 氏 家 英 隆

『私たちの行動が誰かを勇気づけ、誰かを幸せにする』

私が社団法人おおさき青年会議所に入会してから念頭に置く言葉です。青年会議所運動を通し、これからも一人でも多くの人たちを勇気づけ、幸せにしたいと強く思います。

私は、個人の「修練」社会への「奉仕」世界との「友情」青年会議所の三信条を胸に、今日まで多くの仲間と貴重な経験をさせて頂きました。かけがえのない青年会議所運動の道を選択した先に、同じ志の仲間であるからこそ得られるものがあります。そのかけがえのない青年会議所運動の中に、財産といえるべき大切なものがあり、それは私たちの「揺るぎない魂」に刻まれ運動の糧となります。

今や私たちが主催する花火大会は、おおさき地域の夏の風物詩となり、地域の活性を担う事業の一つです。昨年は余震が続く中、花火大会を開催するか否かの議論を重ねました。私たちの行動が地域復興に繋がると信じ、仲間と花火大会開催に挑むことを決意し、私たちの想いをおおさき地域に伝えて参りました。地域の方々から多くの期待と協力を頂き、おおさきの夜空を輝かせたことにより、地域の人たちを笑顔にし、感動をもたらした花火大会になったと実感しております。私たち社団法人おおさき青年会議所メンバーの想いが一つとなった証でもあり、地域の人たちと絆が深まったことを確信しております。

郷土は、大震災以前の日常を取り戻そうと必死に復興へ向かっています。今後、社団法人おおさき青年会議所を通し、おおさき地域の復興に携わることが、私たち青年の使命だと考えます。郷土を愛しむ心、行動を起こす勇気を持ち、復興への道程をおおさき地域の人たちとともに確実なものにしなければなりません。私たち青年が現実から目をそらさず、青年の力を集結し行動すれば、おおさき地域は必ず大震災以前より活気を取り戻し、復興を具現できるはずです。

『私たちの行動が一人でも多くの人を勇気づけ、一人でも多くの人を幸せにする』ことを信じて。

本年度、おおさき花火大会プロジェクトは、一人でも多くの人たちを勇気づけて参ります。花火大会の活動を通じ、おおさき地域の人たちとの絆を一層深め、心を一つにし、地域復興の一助を担って参ります。私たちの行動がおおさき地域を輝かすことを信じ、笑顔が絶えないおおさきの復興を確実なものとし、私たちの活動の軌跡をこの地域に刻んで参りましょう。社団法人おおさき青年会議所は 50 周年を迎えます。先輩方から引き継いだ、「揺るぎない魂」を胸に、高みを目指し、おおさき地域の未来をかけがえのない仲間と見据えて参ります。

私たちの運動が復興のシンボルとなるように。